

令和4年5月24日（火）
国土交通省 関東地方整備局
国営昭和記念公園事務所

記者発表資料

令和4年度事業概要について 国営昭和記念公園・国営武蔵丘陵森林公園 国営東京臨海広域防災公園・明治記念大磯邸園

令和4年度における国営昭和記念公園事務所の事業概要（国営昭和記念公園、国営武蔵丘陵森林公園、国営東京臨海広域防災公園、明治記念大磯邸園）をお知らせいたします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会
都庁記者クラブ、立川市政記者クラブ、埼玉県政記者クラブ
川越市政記者クラブ、東松山市政記者クラブ、熊谷市政記者クラブ
神奈川県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 国営昭和記念公園事務所

【全体】（昭和・東京臨海）

副所長 新藤 勝巳

電話：042-524-1516

FAX：042-526-1466

（大磯・武蔵）

副所長 渡邊 郷史

電話：0463-79-8700

FAX：0463-79-8701

【各公園の事業概要について】

〈国営昭和記念公園〉

調査設計課長 田中 希依

電話：042-524-1089 FAX：042-526-1466

〈国営武蔵丘陵森林公園〉

国営武蔵丘陵森林公園出張所長 代島 昌泰

電話：0493-57-2115 FAX：0493-56-5377

〈国営東京臨海広域防災公園〉

地域防災調整官 水田 仁志

電話：03-3529-2171 FAX：03-3529-2173

〈明治記念大磯邸園〉

副所長 渡邊 郷史

電話：0463-79-8700 FAX：0463-79-8701

国営昭和記念公園事務所の所管公園等



名 称	R 4 年度事業費(百万円)			
	整備費	維持管理費	営繕宿舍費	計
国営昭和記念公園	174	1,141	16	1,330
国営武蔵丘陵森林公園	87	904	1	991
国営東京臨海広域防災公園	0	303	0	303
明治記念大磯邸園	2,513	0	5	2,518
計	2,773	2,347	22	5,142

注：計数は、それぞれ四捨五入しているため端数において合計と一致しない場合があります。

国営昭和記念公園（東京都立川市・昭島市）

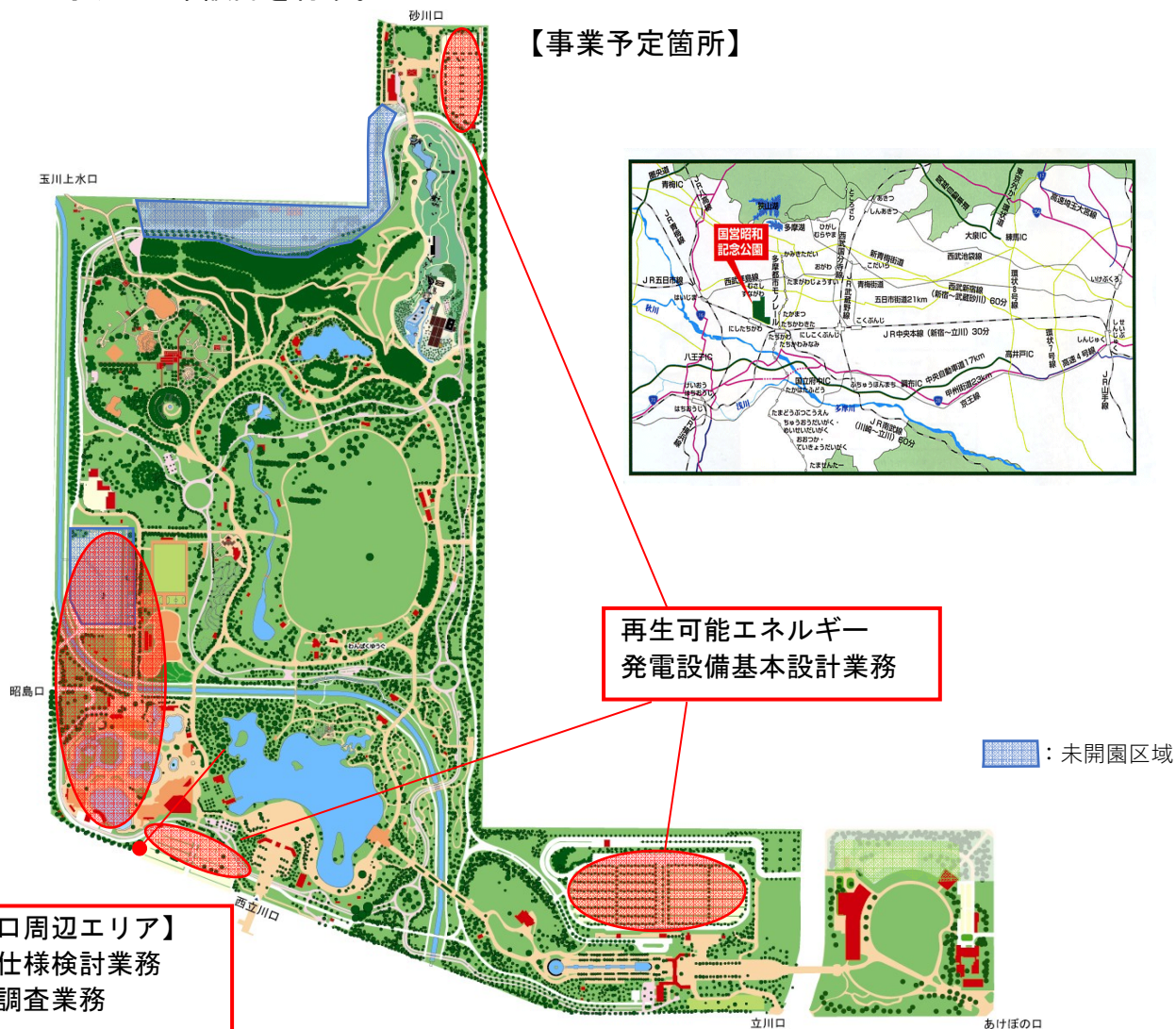
1. 公園概要

本公園は、昭和天皇御在位五十年記念事業として、昭和54年11月の閣議決定により設置された口号国営公園である。昭和55年から事業に着手し、昭和58年10月に第1期開園した。現在、計画面積約180.1haのうち、約169.4haを供用している。

年間入園者数について、コロナ禍以前は例年400万人前後であったが、コロナ禍以降は緊急事態宣言による臨時休園などの影響から減少し、昨年度は約213万人となった。なお、今年4月に第1期開園以来の累計入園者数が1億人に到達した。

2. 事業概要

- ① プールや残堀川調節池跡地等を含む昭島口周辺エリアを対象とした官民連携事業に関する事業者の公募仕様検討を行う。
- ② プールや残堀川調節池跡地等を含む昭島口周辺エリアにおける土壌調査及び分析、対策方針のとりまとめを行う。
- ③ 公共分野における脱炭素社会の実現に向け、園内での再生可能エネルギーの導入に向けた基本設計を行う。



国営武蔵丘陵森林公園（埼玉県比企郡滑川町・熊谷市）

1. 公園概要

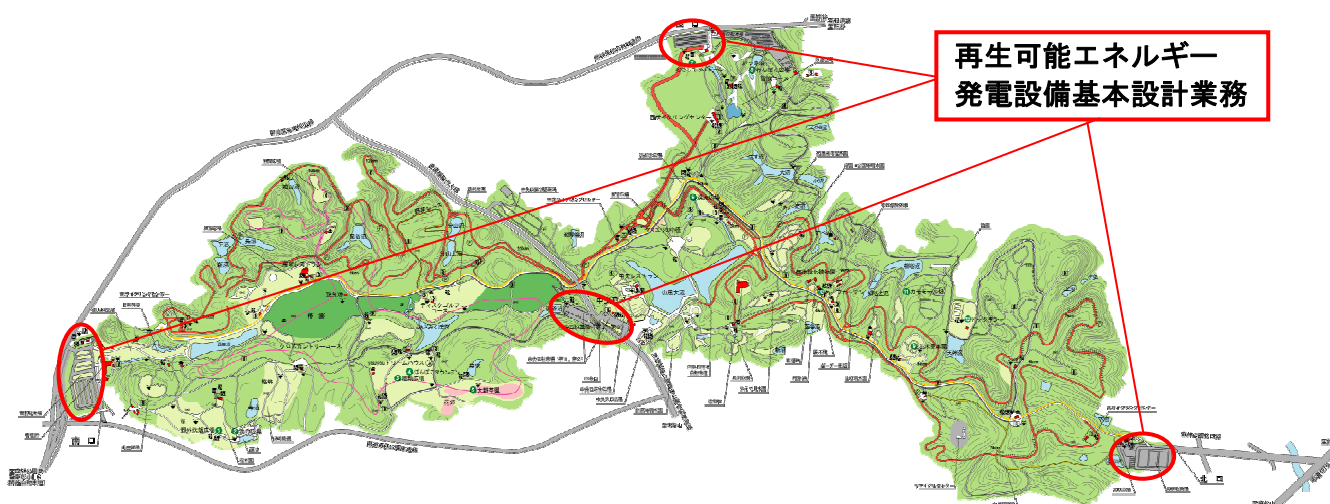
本公園は、明治百年記念事業の一環として、自然を失いつつある都市の住民が緑を通じて人間性を回復する場を確保するため設置された、全国で初めての国営公園（口号）である。昭和43年度から工事に着手し、昭和49年度に概成開園した。計画面積約304haの全園を供用している。年間入園者数について、コロナ禍以前は例年90万人前後を記録していたが、コロナ禍以降は感染拡大による臨時休園などの影響から減少し、昨年度は約77万人となった。

2. 事業概要

- ① 社会の変化や利用者ニーズを踏まえ、今後の公園運営について、効率的な維持管理のあり方を検討する。
- ② 公共分野における脱炭素社会の実現に向け、園内での再生可能エネルギーの導入に向けた基本設計を行う。



【事業予定箇所】



国営東京臨海広域防災公園（東京都江東区）

1. 公園概要

本公園は、都市再生プロジェクト第 1 次決定の一環として、平成 16 年 1 月に決定された「東京湾臨海部基幹的防災拠点整備基本計画」に基づき整備したイ号国営公園である。

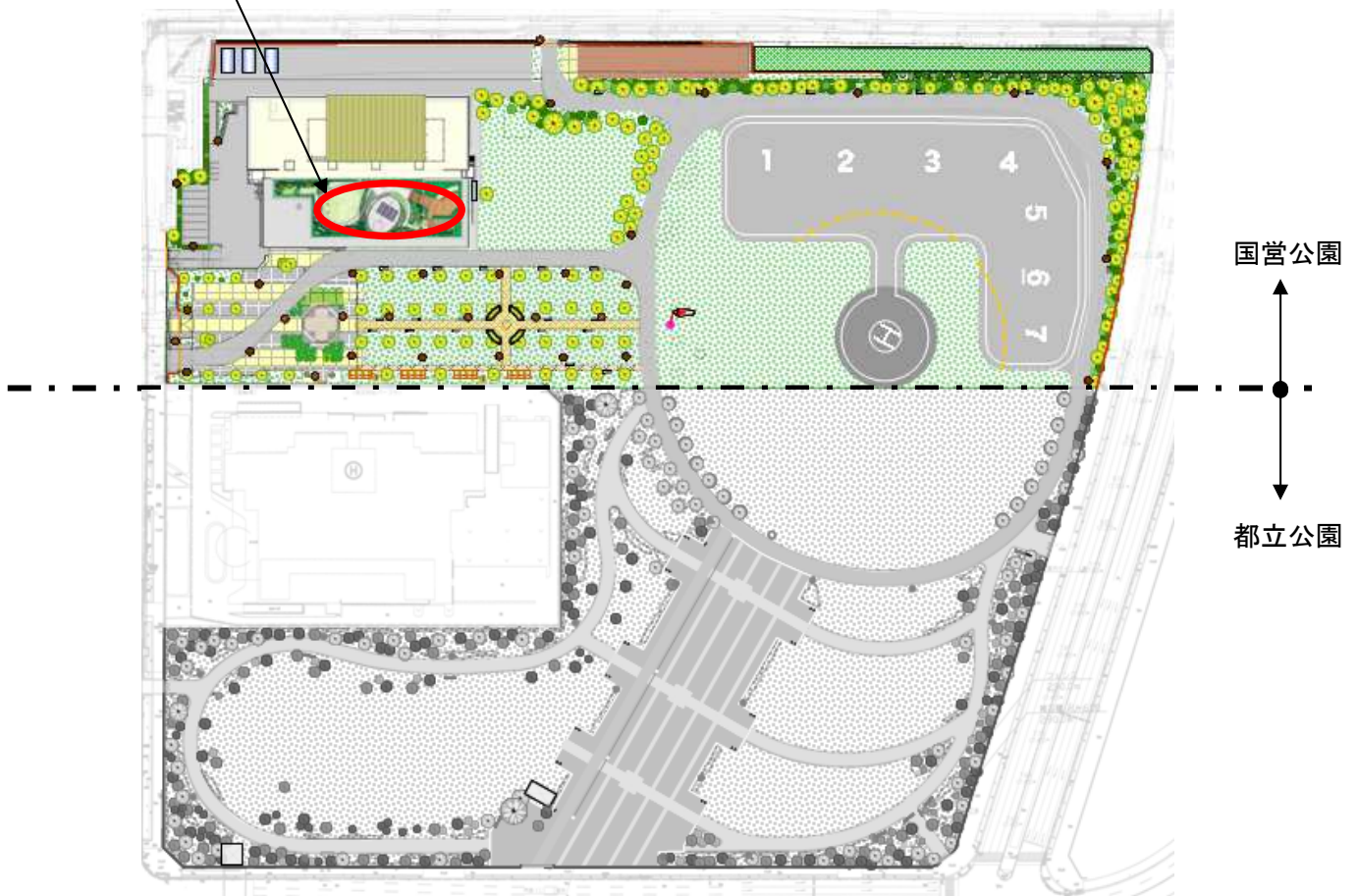
平成 15 年度から事業に着手し、平成 22 年 7 月 1 日に国営公園・都立公園（一部を除く）を同時開園した。面積は約 6.7ha（都営公園約 6.5ha を含め、総面積約 13.2ha）。年間入園者数について、コロナ禍以前は例年 70 万人前後（敷地内の防災体験学習施設には 30 万人前後の年間入館者数）であったが、コロナ禍以降は緊急事態宣言による休館等の影響から減少し、昨年度は約 22 万人（敷地内の防災体験学習施設には約 6.8 万人の年間入館者数）となった。

2. 事業概要

- ① 引き続き防災公園としての公園機能の維持管理及び公園の運営を、計画的かつ適切に進める。
- ② 利用者の防災力向上のため、防災体験学習施設の展示施設更新を行う。

【防災体験学習施設】
展示施設更新

【事業予定箇所】



明治記念大磯邸園（神奈川県中郡大磯町）

1. 公園概要

本邸園は、「明治150年」関連施策の一環として、明治期の立憲政治の確立等に関する歴史的遺産の一体的な保存・活用を図ることを目的に平成29年の閣議決定により設置されたもので、国土交通省が神奈川県及び大磯町と連携し、令和7年度の全面開園に向けて整備を進めている。

令和2年11月に旧大隈別邸・陸奥別邸跡の庭園の一部区域約1.5haを先行開園し、令和3年4月には町の区域の一部約0.8haが開園した。

令和3年度の年間入園者数は、約1.9万人であった。

令和4年度は、邸宅公開に向けた現存邸宅の修繕工事、邸園整備等を進める。

2. 事業概要

- ① 旧大隈別邸・陸奥別邸跡の邸宅公開に向けた、現存邸宅修繕工事及び邸園整備を推進する。
- ② 旧滄浪閣等の現存邸宅の邸宅修繕工事及び新営工事を実施する。
- ③ 未買収地の取得を推進する。

【事業予定箇所】

